

広報

2011  
(平成23年)

# とままえ

# 4

No. 596



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち



## まちひと百景

### 昔ながらの味を伝授!

公民館で開催された成人講座の「苫前産小豆でようかんに挑戦」。

小川の大西静江さん、中山綾子さん、谷田キヨ子さんの3人が講師となり、小豆の収穫後に作っているいつものようかんのレシピを参加者に伝授した。

大西さんらはいつも分量などを計ることなく、「いい(良い)加減を身体で覚えているので、教えるのは大変」と言っていたが、その顔は楽しそうで、いきいきとし輝いてみえた。

- 苫前町議会だよりNo. 83...2~9
- 北海道・苫前町風あげ大会...10
- 町内保育所・小中学校卒業式...11
- 成人講座・苫前商業就職体験発表会...12
- 三角キックベースほか...13
- 国民年金...14
- 学びの広場...15
- 健康ばんざい...16
- 介護保険ガイド...17
- 住まいる情報...18~19
- 卒園・卒業ギャラリー...20

苫前町  
議会だより  
合併号

### まちの人口

人口/3,569人(男/1,677人:女/1,892人)  
世帯数/1,612世帯 (3月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

苫前町議会

2011

議会報発行特別委員会

# 議会だより

4  
No.83

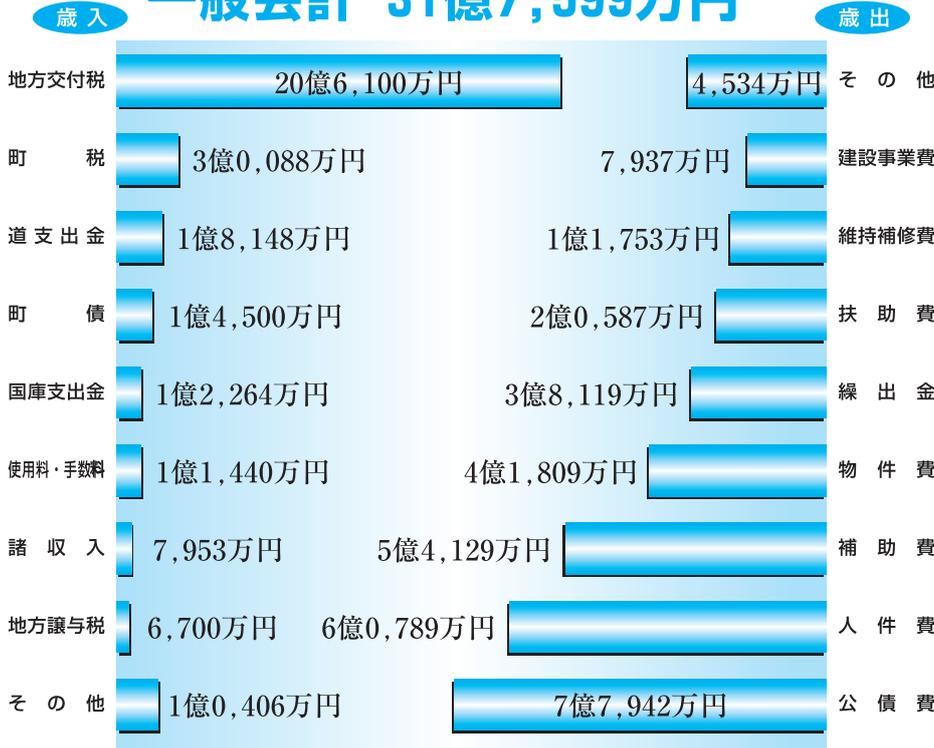
苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

委員長 猫島 優志  
副委員長 西 大幸  
委員 青木 幸一  
渡部 哲  
小倉 志  
田沢 收

平成23年度予算

## 総額46億7,112万円を可決!

### 一般会計 31億7,599万円



平成二十三年第一回町議会定例会は三月九日招集され、会期を十八日までの十日間と決め、開会初日は報告一件、条例改正七件、議案一件、並びに平成二十二年度各会計補正予算八件と北海道市町村議会議員公務災害補償等組合の規約変更二件を承認した。  
翌三月十日は、平成二十三年度一般会計及び特別会計六件の説明のあと、十一日から十六日までの六日間は議案精査のため休会とし、十七日午前十時に再開し、三名の議員が一般質問を行った。  
引き続き予算特別委員会を開催、平成二十三年度各会計予算を審議し、一般会計予算のほか国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、簡易水道事業、下水道事業、風力発電事業の各特別会計を可決し、閉会した。

#### ◆特別会計

国民健康保険特別会計	5億2,095万円	簡易水道事業特別会計	1億7,704万円
介護保険特別会計	4億0,418万円	下水道事業特別会計	2億9,409万円
後期高齢者医療特別会計	4,803万円	風力発電事業特別会計	5,084万円
		総額	14億9,513万円

#### 【主な議案】

- ・苫前町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・苫前町手数料条例の一部を改正する条例
- ・苫前町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例
- ・苫前町保育料徴収条例の一部を改正する条例
- ・苫前町介護保険条例の一部を改正する条例
- ・苫前町生きがい活動支援事業の実施に関する条例

- ・苫前町生きがいデイサービスセンターの設置及び管理に関する条例
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・第四次苫前町総合振興計画・後期基本計画の策定について

#### 長年の議員活動に荣誉

星野恭司議会議長が全国町村議会議長会より、議会議長七年在職者として多年にわたり、地域の振興発展に寄与貢献せられた功績に対し、表彰され、このたびの第一回定例会開会前に伝達された。

議場内から本人に対し、大きな拍手が送られた。誠にありがとうございました。



# 平成22年度 補正予算

## 平成22年度苦前町一般会計予算 総額40億2,474万円

### 主な質疑

国民健康保険特別会計	総額	5億7,914万円
介護保険特別会計	総額	4億1,136万円
老人保健特別会計	総額	81万円
後期高齢者医療特別会計	総額	4,820万円
簡易水道事業特別会計	総額	1億7,003万円
下水道事業特別会計	総額	2億8,849万円
風力発電事業特別会計	総額	1億0,059万円

#### 質 西 議員

繰入金が減額、基金は積んでいるが、単純に財源の出入りか。簡易水道予算で、使用料収入が激減しているが何か対策は。

#### 答 山田総務財政課長

剰余金によるもので予定事業の未実施ではない。

#### 答 加藤建設課長

給水件数の大幅減による減額で、平成二十五年度以降で料金の

改定も含めた計画の対応を考えなければならぬ。

#### 質 田沢議員

今年、道道力昼九重線が開通するが、交通量の増加が想定される。力昼市街地は幅員が狭く、かつ高齢者が多い。北海道に交通安全対策、大型車両の通行に対しての安全対策を要望する考えは。

#### 答 加藤建設課長

必要最小限度の交通安全対策としてカーブミラーの設置。道路の交差点に道路照明の設置。現在、市街地の道路拡幅の計画はない。

冬季の排雪頻度を増やしたり、力昼町内会にも雪の堆積スペース確保等をお願いしたい。現状を再確認し、土木現業所へ要望していきたい。

#### 質 猫島議員

中山間地域等直接支払交付金減の原因は。

#### 答 小丹保農林水産課長

協定用地の精査、取組内容の一部変更に伴い減となった。

#### 質 青木議員

衛生使用料の減額は、契約の変更か、契約期間の変更か。住宅使用料滞納繰越分の増となっているが何名か。滞納分は完了か、内金か。水道使用料滞納繰越分の減は欠損処分となるのか、何名分か。

#### 答 池田町民課長

歯科診療所使用料の減は診療報酬減が要因となっている。

#### 答 加藤建設課長

公営住宅の滞納、四件で二万四千元、うち一件は全納している。

水道滞納繰越分六万八千元、内訳六名で全て完納している。

#### 質 阿部議員

水産物ブランド化プロジェクト事業の進捗状況と今後の展望は。留萌中部森林組合運営補助金が減額になるのは、どういうことなのか。

#### 答 小丹保農林水産課長

八角の小さいもの、売りに出せないものを商品化し、試食会などを開催している。ご当地料理開発研究事業補助金についても、道の駅などで特産品として研究をしている。次年度は商品化、販売につなげたい。

中部森林組合運営補助金については森林組合と協議の結果、補助金は支出しない旨、森林組合の理解を頂いている。

#### 質 阿部議員

森林組合と事前にそういう話し合いがあったのか。

#### 答 山田総務財政課長

補助金は収支でマイナスに転じた場合、範囲内で補助を考えたいと説明している。

#### 質 林 議員

議決の重みを大事にしなければならぬと思う。

#### 答 竹内副町長

補助金には交付規則があり、森林組合に説明したところ、補助申請はしないという回答である。

#### 質 林 議員

一般職給料が若干変わっているが理由は何か。時間外勤務手当増額の理由は。

#### 答 山田総務財政課長

時間外勤務手当の増は、実績及び2月、3月の見込みを積算したものである。

人件費関係の補正は、人事異動による精査した結果による。

#### 質 林 議員

風車3号機ピッチシリンダー交換業務委託料の減額理由は。

#### 答 平井企画振興課長

委託契約による減額である。

### 臨時会

平成23年  
1月19日  
開催

- ・苦前町手数料条例の一部改正
- ・子宮頸がん等予防ワクチン接種緊急促進事業

四四四万三千元追加

- ・風力発電のまち災害見舞金

一〇〇万円追加  
(平成二十二年補正で対応)

# 平成二十三年 予算特別委員会

**骨格予算とは**く町村長の任期が満了による場合、自己の判断による政策的予算を当初予算に計上することは、道理的にも有権者の立場から見ても好ましくない。

そこで、当初予算には年間の義務的経費や継続事業費程度を計上した編成、選挙後の定例議会における補正予算にて再出発する。  
\*義務的経費は主に人件費や公債費、扶助費など任意では削減できない経費

## 【総合振興計画】 二 一般 会 計

**質 西 委員**

進行管理のあり方はどう考えているか。ローリング方式という検証作業の中で見えにくい点がある。

**答 平井企画振興課長**

まちづくり基本条例の中では進行管理のあり方が提起されていない。今後、議論を進める。

**質 青木委員**

計画上の人口想定が現実的ではない。訂正の考えはあるか。

**答 平井企画振興課長**

必要であれば実態に合わせて見直しも考えていきたい。

**質 阿部委員**

不法投棄の看板設置予算があるが、他の方法は何か考えたか。

**答 池田町民課長**

不法投棄が多い。他には関係機関とのパトロールや防犯カメラの設置など検討した。

**質 西 委員**

今後の風呂なし世帯対策公衆浴場の設置意義について。冬季体育施設管理員に対する安全教育、危機管理教育について。町営住宅の維持管理の修繕計画の三

**答 池田町民課長**

それぞれどう考えているのか  
風呂なし世帯に対する補助は数名だが、世帯の実数は定か

はない。公衆浴場の今後のあり方は協議をしていきたい。

**答 泉社会教育課長**

管理人や職員、関係者などに対して消防署にも協力を仰ぎ、教育指導を行いたい。

**答 星建設課長補佐**

修繕料は年々減少で推移し厳しいが国の交付金などを活用してきた。年数が経過するとともに計画的な対応が必要となる。

**質 青木委員**

小学校費で部活動便のバス運行予算が見えないが、舞台鑑賞友の会に対する予算はなぜ当初予算からの計上か。

**答 開発管理課長**

部活動便は委託料に含まれている。

**答 泉社会教育課長**

六月に予定の事業があるため。

**質 阿部委員**

幸寿園のスプリンクラー用発電機は停電時に別なところへ使用可能なか。オロロン留萌中部通年雇用促進協議会の次年度の動きは。

**答 星建設課長補佐**

消防法における消防施設としての位置付けでありスプリンクラー使用のみである。

**答 平井企画振興課長**

平成二十二年以降、単年度ごとの制度運用である。次年度も実施の方向で検討されている。

**質 小倉委員**

苦前小学校のバックネット更新工事の内容及び学校用パソコン予算額で小学校と中学校の予算額の違いは。

**答 加藤建設課長**

苦前中学校と同等の規格による更新工事である。

**答 開発管理課長**

小学校と中学校の導入台数の違いによる差異である。

**質 田沢委員**

地籍用コンピュータ購入費はどういったものか。保健師の退職などに伴い補充はあるのか。

**答 能戸総務財政課長補佐**

これまでリースにて使用してきたもので買取りの予算である。

**答 池田町民課長**

保健活動は人員補充を行わず現状で行う予定であるがバランスを考慮し検討したい。

**質 田沢委員**

町職員の定員適正化計画において予定人員は下回っているはずだが年次の採用などの考えは。

**答 山田総務財政課長**

前計画は平成二十年度で終了しているが、目標人員より三名下回った結果である。今後、年度によって欠員を補充しながら微減を目標としている。

**質 渡部委員**

旭・昭和・力昼地区児童輸送業務委託において今一度、委託契

約の持つ意味について考えなおさなくていけないのではないか。

**答 伊藤教育長**

二十三年度から体制が整い次第、委託方法変えたい。

**質 阿部委員**

中小企業利子補給補助金減額の理由は。旭長島線歩道整備事業の委託料、工事費等の内訳は。

**答 平井企画振興課長**

設備投資の減に伴う減額。

**答 加藤建設課長**

正式な交付決定はきていないが、幹線町道のため当初予算に計上し、工事を実施したい。概算事業費二千万円で小学校前から旭克雪センターまで三二〇mの測量設計と用地測量業務。延長一七〇mの道路両側に歩道設置。

**質 青木委員**

教育委員会職員給料が増額、手当は減額となっている理由は。

**答 山田総務財政課長**

二十二年九名、二十三年十名で計上での増額。手当は期末勤勉手当年間〇、二ヶ月分減額によるもの。

**質 猫島委員**

ヘルパー利用組合の運営内容は。

**答 小丹保農林水産課長**

総事業費二、五〇〇万円。本町負担分一八三万円程度の負担で町六十五%、農協三十五%の負担となっている。本町二十四戸の酪農家で一酪農家、年間十四日程度利

用している。

**質 阿部委員**

公的個人認証サービス鍵ペー  
生成装置等とは。教育費のコン  
ピューターについて、リース期間  
五年から七年にした理由は。

**答 池田町民課長**

住基ネットワークのカードのI  
Cチップ作成に必要。

**質 開発管理課長**

リースは平成十二年度より導  
入。二年延長は平成十五年度よ  
り。故障トラブル防止のため平  
成二十一年度より五年に切り替え  
た。

**質 阿部委員**

中小企業利子補給補助金につ  
いて、使い易い制度改正が必要と  
思うが。

**答 平井企画振興課長**

備品購入や設備投資などが対  
象で、私的な用途は適用外とな  
る。制度設計も含め内部で議論  
したい。

**質 阿部委員**

水産物高付加価値業務委託料  
とあるが主な仕事先について及び  
水産物ブランド化との関連性は  
あるのか。橋梁点検業務はその  
後どうなったのか。冬季体育施設  
管理員賃金の具体的内容は。

**答 小丹保農林水産課長**

委託先は漁協で増産体制の確  
立のための業務が主で、ブランド  
化との関連もある。

**答 加藤建設課長**

二十三年度は橋梁点検が終  
わった四十六橋について耐震化改  
修計画を立てるべく要求してい  
る。

**答 泉社会教育課長**

苦前三角点、古丹別緑が丘両  
スキー場の管理、監視、除雪、整  
備を含めた業務である。

**質 阿部委員**

昨年と比べてスキー場の管理の  
費用が違うが業務が違うのか。

**答 泉社会教育課長**

より管理監視体制を強化し安  
全対策を講じるため今年度の予  
算となった。

**質 阿部委員**

学校用パソコンのリース期間で  
更新するのではなく使えるものは  
少し我慢してでも使ってもらっ  
てはどうか。

**答 開発管理課長**

大きな支障が生じないと確認  
されればご指摘の通り検討する  
余地があると認識している。

**質 猫島委員**

町が所有する車両は何台で車  
検料はいくら払っているか。

**答 山田総務財政課長**

町有車両は四十六台、車検費  
用は個別の車両により部品等金  
額のばらつきがある。

**【国民健康保険特別会計】**

**質 西委員**

特定検診における受診率によ  
るペナルティの額はいくらか。少  
額であればより実効的な保健活  
動の展開に重きをおいた行動でい  
くべきではないか。

**答 池田町民課長**

国の受診率の設定率は  
六十五%でクリアしなければペナ  
ルティが課せられる。今年度分  
行けばおよそ五百万円。現在、こ  
の率には達しない。今後の活動を  
検討しながら受診勧奨も進めて  
いく。

**【簡易水道事業特別会計】**

**質 青木委員**

水道使用料の用途別内訳は。

**答 加藤建設課長**

個人用一、七六六件、事業用  
五二件、営業用三〇件、工業用三  
件、浴場用一件である。

**【下水道事業特別会計】**

**質 青木委員**

下水道使用料の一件あたりの金  
額はいくらか。

**答 加藤建設課長**

基本料金は二千円で、超過料  
は平均で八百円となっている。

**質 猫島委員**

上水道と下水道使用料金の比  
較についての考え方は。

**答 加藤建設課長**

上水道のおよそ七割以下が下  
水道になる。

**【風力発電事業特別会計】**

**質 猫島委員**

避雷針を設置する考えは。

**答 平井企画振興課長**

落雷には直撃波と誘導雷があ  
り、特に直撃波が多い。避雷針  
の有無に関わらず直撃波が落雷  
するため、避雷針の設置につい  
てはデータ収集などにより検討し  
ていきたい。

**【総括 質 疑】**

**質 西委員**

骨格予算ではあるが、純然た  
る基金の繰入れは見られない。予  
算規模は昨年度より多いのかと  
思うが、どこに狙いを置いた予算  
としたのか、どんな指示で予算を  
編成したのか。義務的経費の計  
上であっても内部の体制を効果的  
にするなどできるはずだが、考え  
方を伺う。

**答 森町長**

国の様子を見ながら守る体制  
の予算組みをしている。骨格予算  
ではあるが踏み込んだ予算にす  
るように指示している

内部の体制については動かさな  
いで守りながらやるということ考  
えている。

**質 阿部委員**

二期八年間、経常経費、公債  
費を見ても非常にいい数字になっ  
ている。立起表明されているのは

町長一人。今の段階では、三期目  
を語って頂いて結構だと思ってい  
る。

三期目に向かって少し攻めに入  
りたいということに非常に期待を  
している。

特に、雇用問題という部分では、  
是非、攻めに入ってほしい。今、  
ブランド化のプロジェクトとも  
進めており、雇用や若い人がそこ  
に根付くことにより、苦前町が出  
来上がってくる。  
今の町長の考えは。

**答 森町長**

実は雇用問題をやっていたとい  
う意識は相当ある。新年度  
には北海道から職員一名派遣予  
定であり、企画振興課に張り付け  
たい。

町の弱い項目、絶対必要な項  
目をきちんと取り上げて、分析を  
始めたい。

その中で、雇用問題について、  
重要項目にして進めたい。

**質 渡部委員**

町内は疲弊している。建設事  
業の拡大など財政出動が必要に  
感じる。

雇用の場を開くなど配慮が必  
要ではないか。

**答 森町長**

財政状況を確認、チェックしな  
がら考えている。国自体が不安定  
だが、国・道の事業を入れながら  
展開している。

# 一般質問

地域内経済循環の仕組みとその動きについて



西 議員

住民の皆さんが閉塞感として感じる要因は様々であると思うが、時代の転機や町内での生活が困窮しつつあることなどが挙げられる。苦前町が持っている資源は資質の高い物が多い。こうした物がすぐに外へ流出する前に地域内で一度ないし二度循環することで、地域において経済活動を共有することができると。そのことは町の活気にもつながる。

一、苦前小学校に併設の旧給食処理場を地場産品の加工などの調理・研究・開発を行う施設として活用できないか。

二、現在進めているプロジェクトなどがあったりするが、理念を

掲げ大きな目標のもとで体系化し実際に行動を取る時に場当たり的なものにならないよう計画・プランが必要ではないか。

答弁 森 町長

一、施設利用には条件があるが難しいものではない。国庫補助事業完了後十年以上経過した建物であること。無償により転用、貸与等をする場合で短期間でありその相手先を問わないとされている。これらの条件を満たすことで施設利用が可能であるので、利用の必要に応じて手続きを進める。

二、地域のブランド化に向けた構築手法が確立されることによつて、地域内の消費や雇用に結びつくものであり、先を見越した仕組みづくりが多岐にわたるまちづくりの重要な鍵に繋がると考えている。住民の目線に立ち同じ方向を向いた行政運営を実現するための方策として各種計画の企画段階から住民の意見や提案を反映できるように実践

空き住宅に関する対策は？



田 沢 議員

していききたい。

始めに、今回の東北関東大震災の被災者に、町内の空き住宅十戸を被災者用住宅としたことに対し、そのような対策を講じた町に敬意を表したい。

古丹別地区の公営住宅は相当数の空きがある。昨年、多額の事業費を投入して下水道工事を実施した訳であるが、現在の入居基準では単身者や一定程度の収入のある人は入居出来ないことになっている。そこで、

一、国の規制緩和について、現在、どのような状況になっているのか。

二、それらを踏まえ町としてどのようなスケジュールで条例改正等を行うのか。

三、入居基準をどの程度まで見直す考えか。

四、下水道利用人口増加のため

答弁 森 町長

他の団地への移転などの働きかけを行う考えは。

古丹別地区は現在、二十七戸が空き家になっており、町としても対策に苦慮しているところである。そこで、

一、地域主権の観点から公営住宅法の改正が盛り込まれた法律案は閣議決定されたが、未だ審議中で改正案も示されていない状況である。

二、古丹別地区の状況は看過できず、制度改正の遅れや内容が不十分な場合は「みなし特定公賃貸住宅制度」を活用して補充することも考えたい。

三、法律案の改正は同居親族要件の廃止と入居収入基準の条例委任の二点であり、具体的な金額を示す段階ではないが、収入基準の引き下げは検討に値すると思う。

四、東団地と北星団地は下水道未接続だが、低家賃のため一定の需要がある。比較的高額な団地への移転は、生活に直結するため慎重に対応することが必要と考える。しかし、高齢者居住の安全性確保という福祉的観点から、高齢者仕様住戸への入居

財源の確保と本町の財政健全化について



猫 島 議員

国、道からの財源をどう確保し、本町の財政健全化を図ろうとするのか。

答弁 森 町長

二十二年度普通交付税は活性化推進特例債費の創設による単位費用の増額や段階補正、人口急減補正の見直しなどで、前年度にひき続き増額補正された。しかし、国の財政状況の悪化に伴う削減や国勢調査による人口減少の影響などが懸念されるこ

とから、財政力の弱い過疎地域に対する財源調整の強化について、総務省や北海道など関係機関に要請を行うなど臨時財政対策を含めた一般財源の確保に努めていく。

ひもつき補助金の一括交付金化などが盛り込まれた平成二十三年度予算関連法案は通常国会で審議中だが、今後の動向を注視、本交付金の効率的かつ効果的な活用に向けて準備したい。

### 届け意見！

#### 新たな高齢者医療制度に関する意見書

国は、昨年十二月「高齢者のための医療制度について」を発表した。

最終取りまとめでは、後期高齢者医療制度の加入者一、二〇〇万人が市町村国保に加入しているが財政運営は都道府県となり、国保の中で年令を区切る制度となっている。

また、市町村国保の総収入に占める国庫負担金は減少中であり、新たな財政負担もなまます町村国保を都道府県に広域化することは、国保の改善に繋がらないなど、新制度には多くの問題があると考えられる。国民が、安心して医療を受けられる制度になるよう、政府関係機関へ要望する。

財政健全化の取り組みで二十一年度決算の実質公債費比率は十九・九％に低減、基金残高も増加の傾向にある。基金ではないが今年度備荒資金組合超過納付金として三億円を積み立てた。楽観を許されない状況が続くと考えられるが、均衡ある本町の発展と住民福祉の向上を図っていくため、限られた財源を効率的に活用、最大の行政効果が達成できるように引き続き努力していく。

### 国へ要望書を提出！

#### 地域医療存続のための医師確保に関する意見書

平成十六年に始まった「新医師臨床研修制度」により、地方で勤務する医師の不足が深刻な状態になっている。

住民の安全と安心を確保するため、救急医療をはじめとする地域医療体制の整備にあたり、安定した医師の確保が必要である。

地方の医師不足と偏在を解消し、安心できる地域医療体制が存続できるよう、国において施策を講じることを要望する。

## 特集

# きめ細かな交付金

# 住民生活に光をそそぐ交付金

国の補正予算において、地方公共団体が地域の实情に応じ、地域の目線に立ったきめ細かな事業等に活用できるきめ細かな交付金及び、住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当ててこられなかった分野に対する地方の取り組みを支援する住民生活に光をそそぐ交付金が創設された。

本町交付限度額（試算額）は次のとおり。

#### 【きめ細かな交付金】

- 事業費総額 八、六〇八万五千元
- 交付金総額 六、一九六万四千元
- 実施予定工事等
  - ・古丹別歯科診療所改修工事 事業費 六四八万七千元
  - ・古丹別歯科診療所暖房ボイラー及び暖房放熱器取替工事 事業費 一二五万九千元
  - ・上平共同利用模範牧場既存施設解体・撤去工事 事業費 二、一五六万四千元
  - ・苦前町新日本海地域交流センター鋼製ドア取替工事 事業費 二七二万二千元
  - ・町営住宅等下水道接続工事 事業費 二、七二二万四千元

#### 【住民生活に光をそそぐ交付金】

- 事業費総額 二、二四二万一千元
- 交付金総額 二、一三四万二千元
- 事業費総額 二、二四二万一千元
- ・教員住宅補修事業 事業費 四八六万一千元
- ・昭和-high台一号线道路災害復旧事業 事業費 一、五四七万六千元
- ・浄水場水質計器更新事業 事業費 六五〇万二千元
- ・教員住宅補修事業 事業費 四八六万一千元
- ・昭和高台一号线道路災害復旧事業 事業費 一、五四七万六千元
- ・浄水場水質計器更新事業 事業費 六五〇万二千元
- ・教育支援員設置事業 事業費 九一九万二千元
- ・高齢者等地域見守り事業 事業費 一六〇万九千元
- ・学校図書環境整備事業 事業費 三八七万円
- ・苦前町公民館図書等整備事業 事業費 四九二万二千元
- ・北海道指定文化財保全事業 事業費 二八二万八千元



北海道指定文化財十一面観音立像

# 委員会レポート

**産業厚生  
常任委員会**  
平成23年2月20日開催

①平成二十三年度羽幌町外二町  
村衛生施設組合負担金  
広域火葬場施設建設による負担金が増額となる。  
負担金 一億六、八五二万円

②苦前町保育料徴収条例の一部改正  
保育の実施が決定した日の月初めの初日において、満3歳に満たない児童を三歳未満児というが、年度途中で三歳に達していても年度中に限り三歳未満児とみなし、入所児童の保育料の不公平感をなくすための改正。  
また、三歳以上児は保育の実施が決定された日の月初めにおいて満三歳以上である児童をいう。

③介護保険条例の一部改正  
訪問介護事業等の位置付け、見直しを行う。訪問介護事業、居宅介護支援事業及び介護予防支援事業については保健福祉事業として位置づけられているが、実際の運営から適当な位置づけになるように改める。これにより財政的な自立の促進や利用者確保の意識向上、サービスの向上を図られるように措置する。

④生きがい活動支援条例の一部改正  
介護保険法の施行から十年が経過、福祉サービスに対する住民ニーズの変化へ対応し、施設の有効活用を図るため、関係条例に分割し整理する。

⑤ホームヘルパー育成支援事業（緊急雇用創出事業）  
ホームヘルパーの担い手不足と利用者の増加に対応するため、新たに資格を取得しようとする方を雇用し、資格を取得させる。  
訪問介護事業所に対し緊急雇用創出事業補助金として支援する。  
総事業費 三四三万円

⑥水産物高付加価値推進事業（緊急雇用創出事業）  
水産物ブランド化プロジェクトとして特産品開発に向けた加工・研究作業に従事する方を雇用し、特産品開発による地域水産物の振興を図るとともに、新たな雇用機会を創出する。

⑦羽幌原野古丹別（停）線公安  
工事施工に伴う水道管の移設工事（川北地区）  
事業費 七四二万二千元

⑧旭長島線交通安全施設整備事業  
苦前小学校体育館横から旭克雪センターまで歩道を設置する事業。  
延長 二km  
（全体）二億一、九五八万五千元  
（二十三年度） 二、〇〇〇万円

⑨町道・河川維持補修事業（緊急雇用創出事業）  
失業者を雇用し、町道の側溝清掃、立木伐採及び普通河川の河床清掃、立木伐採を実施する。  
総事業費 四一〇万円

⑩苦前町住宅環境改善補助規則の一部改正  
既設の便所を水洗に改造及び排水施設の整備をするものに補助金を支出しているが、近年は件数が減少している。このため今年度より創設された「水の安全・安心基盤整備事業」の「水洗化に対する助成支援制度」を活用、補助金を増額して、下水道の普及促進を図ることから、この規則を改正する。  
（詳細は、建設課へ）

**総務文教  
常任委員会**  
平成23年2月20日開催

①北留消防組合予算  
本部負担金  
一、一五二万七千元  
苦前支署費  
三、八七七万七千元

古丹別支署費  
八、一六九万七千元  
消防団費  
九五三万九千元  
消防施設費  
四三二万七千元  
予備費  
五〇万円  
合計 一億四、六三六万七千元

②苦前商業高等学校存続関連事業  
後援会に対する補助金  
六二二万二千元

③苦前町教育委員会事務の評価（平成二十一年度）  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会は教育事務の管理等について点検・評価を行い、その結果を議会に提出、公表した。

④全国学力・学習調査の結果  
昨年実施された全国学力・学習状況調査について、本町の学力等の状況を把握し、今後の指導及び工夫改善を生かすため、保護者や地域住民に説明を果たし、理解と協力を得るため公表した。



⑤苦前町B&G海洋センター使用料改正  
利用者の要望や利用状況を把握し、町民はもとより近隣市町村等の利便性の向上を図るため、所要の整備を行う。  
使用料シーズン券  
町内小中学生 五〇〇円  
" 高校生 一、〇〇〇円  
" 一般 二、〇〇〇円  
町外小中学生 五〇〇円  
" 高校生 一、〇〇〇円  
" 一般 三、〇〇〇円

⑥子供の読書環境整備事業  
今年度より読書活動推進計画を策定し、公民館図書室や学校図書室の環境整備を行い、地域における関係者の連携を強化し、活動の充実に資する事業を行う。  
（緊急雇用創出推進事業）  
事業費 一七四万円

# 全員協議会

平成23年  
1月19日  
2月19日  
開催

## ①第四次苦前町総合振興計画・後期基本計画の策定

本町では平成十八年度に策定した前期計画が二十二年で終了し、二十三年度から二十七年までの五か年間の後期計画が実施されることから、二十二年中にその策定がされ、委嘱委員十九名により計五回の策定委員会を開催。提言をまとめた後に苦前町開発審議会に諮問し、二月十五日答申を得た。

## ②電算システムの共同化

留萌地域電算化推進協議会の構成町村（増毛町、小平町、苦前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町）では住民基本台帳や税など基幹系業務といわれるものについて、導入形態が様々な状況にあることから、共同化を検討し国の動向により、業務の標準化を図ろうとしており、平成二十七年までにはシステムの移行を予定している。

## ③耐震改修促進計画

災害から人命を守り、災害に強い社会を目指して本計画が策

定された。

## ④町内小中学校嘱託公務補

町では労働基本法上、労働契約と判断できる個人との業務委託について、適切な業務形態に改善するために見直しを行う。二十三年度は直営により計四名の公務補を求め予算額に報酬、諸費を含め九七二万円の予算を要望した。

## ⑤町内中学校部活便運行

現在まで中学生の部活動後の帰宅については個別の問題としていたが、新学習指導要領の答申を受け、平成二十三年度よりスクールバスにて通年運行とすることにより、二四六万円の予算を要望するもの。

## ⑥苦前中学校暴風災害復旧事業

平成二十二年十二月十一日夜から十二日朝にかけての暴風により、苦前中学校校舎南側の屋根が剥離・飛散したことから、早急な復旧工事を実施した。

二月三日に行われた文部科学省の現地査定時に北側屋根の浮きや中庭付属設備の破損が確認されたことから追加復旧工事を行う。

## ⑦へき地患者輸送に係る業務委託

これまでの個人との業務委託契約を改め、団体（法人）へと変更し適切な契約形態に改善する。

## ⑧苦前幸寿園スプリングラー整備事業

特別養護老人ホーム苦前幸寿園へ消防用設備としてスプリングラーの設置が義務付けられることとなり、北海道の直接補助事業を活用した当該施設整備に、町として法人負担分に対して補助金を交付する。

## ⑨広域火葬場整備計画

中部三町村による広域火葬場の整備に係わる工事見込み予算が説明され、今年五月には建設工事が着手、二十四年夏には供用開始する予定である。

## ⑩広域ミックス事業（し尿処理施設）

し尿処理施設は中部三町村の地域振興協議会が中心で進めており、数年後には現施設が飽和状況になることを見込み、将来の処理施設のあり方や各町村の負担率など協議した。

## 臨海地域 特別委員会

平成23年  
2月10日  
開催

## ・風力発電風車（町営）の修繕

夕陽ヶ丘風力発電三号機の風車に落雷があり、羽根一枚の先端部に損傷を受けた。現在は経過観察を行いながら運転をしており、七、八月に修繕を予定している。

工事費 二二三万円

## ・新日本海地域交流センターの小規模修繕

苦前町が自己の費用と責任において実施する。指定管理者に修繕を委託する理由は、利用者へのサービス確保と処理の時間短縮、直接発注による費用の低減が図られる場合に、町の承認を受け、指定管理者が実施する。

## 編集雑感

議会議員として四年が経過したが、果たして満足出来る活動であったのか自問自答している。三月十一日に発生した「東北関東大震災」は我が国の歴史で、最悪の状況となり、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方たちへ哀悼の意を表したい。また、行方不明の方々が一刻も早く発見されるよう祈るのみである。国として被災地域の復興に全身全霊で取り組むことを切に期待したい。

明るい話題もあった。個人的であるが、苦前北斗歌留多クラブの若手が三月に天人峡温泉で開催された「第五十六回高松宮御観覧記念全日本下の句かるた旭川大会」で念願の優勝を果たすことができた。数年前には全日本大会で優勝するなど想像も出来なかつたが、これで美深大会、岩見沢大会、札幌大会に続き四大会で優勝することができた。かるた人口が減少している中、子供たちへの明るい希望の光を灯す結果となった。

四年間、わかりやすく見やすい広報誌を目指して編集してきましたが、町民の皆さんに満足できる広報誌となったのか疑問も残ります。四年間の愛読に対して感謝申し上げます。  
(文責 田沢)

# 気まぐれな風に悪戦苦闘!

## 第19回北海道風あげ大会 第38回苫前町風あげ大会



めまぐるしく変わる天候の中、第19回北海道風あげ大会・第38回苫前町風あげ大会が二月二十七日(日)とままえ温泉ふわつと付近を会場に、町内外から約二五〇〇人の来場で開催された。

開会式では大会長の森町長、田澤已榮樹実行委員長の挨拶の後に、苫前小学校六年の清水優稀奈さんと同校六年の佐藤真夕さんの力強い選手宣誓で開会した。

昨年まで二部構成で行っていた風あげ競技を三部構成に変更して行われた大会では、山側から吹いていた風が海から吹いたり、留萌側から吹いていた風が羽幌側から吹き始めるなど、方向が定まらない風とあわせて降る雪が参加者を苦しめていた。そのため、順調にあがっていた風も落下したり、他の風と絡まるものも少なくなかった。

特に連風や大風は、風の方向に加え、風の強さにも悩ませられ、苫前地域マリニビジョン協議会、商工会、有限会社無限樹らの大風は悪戦苦闘するとともに、古丹別スキー少年団や桑名はまぐりチームの連風も落下しないよう風をとらえるため、風の操作に注意していた。

競技終了後は、北海道女性ナンバーワンピエロ「三条かのん」のパンツタイムやバルーンアートが行われ、来場者の目を引いていた。表彰式では、友好市の桑名市(旧長島町)から桑名市長賞が各部門に設けられ、副賞も渡された。

また、ふわつと前で行われた各団体による出店では、海産物やたこ焼き、ゆでとうきびなどの販売や味噌汁の無料配布などが実施され、べこもちは数分で売り切れるなど大盛況でイベントを盛り上げていた。



	最優秀賞	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	桑名市長賞	努力賞
親子の部	千葉 彩心 千葉 志津	西 桜誇 西 麻衣子	阿部 隼也 阿部まり子	下田ひより 下田 美雪	小林 悠之 小林 康子	安田 衣咲 安田 早苗	斎藤 羽輝 斎藤 高博	松浦 史奈 松浦 隆史
小学1・2年生の部	柴田 太一	蓮見侑梨愛	林 優汰	西谷 雄太	安田 颯汰	名畑 莉来	赤塚 凌汰	杉本 優歌
小学3・4年生の部	西 志尚	落田 真矢	三上 紘輝	加賀谷悠衣	佐井 悠那	勝野 優貴	高尾 茉央	清水 涼雅
小学5・6年生の部	青柳紗弥香	勝野いくみ	斎藤 未夢	旭 三宝	佐藤舞菜音	本田 脩陽	西谷 美憂	堀井 勇人
中学生の部	川村 旬輝 岸 仁美 小林 太郎	辻村 稜太 森 いつ 芳賀 史織	長谷川隼一	高田 里帆 高橋 雄也 成川 霞			青柳 康平	
高校一般の部	運上 和子	米谷 養照	竹花 秀信	井上 忍			ウインドセブン	
大風の部	有限会社無限樹	青柳 誘孝	田中 紫孝	山本建設工業株式会社			苫前地域マリニビジョン協議会	
連風の部	近山 利春	苫前大正琴同好会	古丹別スキー少年団	桑名はまぐりBチーム			苫前大正琴同好会	

特別賞(苫前建設協会) 親子の部 杉本 優歌・杉本 晃典